

演題18	演題名 その人らしくを支える退院支援をめざして ～療養病棟における退院チェックシートの作成～
	発表者 星合 紀美子 (岐阜県 国民健康保険飛騨市民病院) 共同研究者 西本 明子、逢坂 ゆきみ、荒家 千夏、岩崎 美幸

背景

当療養病棟での退院指導は、退院指導を導き出すツールがなかった。また看護師個人の能力や経験に差があり、統一した指導ができていないという不安があった。

目的

- 病棟看護師の退院指導に対する不安を明確にする。
- 自宅療養を希望した患者の個性を重視した、その人らしく退院後の生活を過ごせる退院チェックシートを作成する。

[背景]
当療養病棟の退院指導は、退院指導を導き出すツールがなく、看護師個人の能力や経験に差があり、統一した指導ができていないという不安があった。

[目的]
病棟看護師の退院指導に対する不安を明確にし、自宅療養を希望した患者の個性を重視した、その人らしく退院後の生活を過ごせる退院チェックシート（以下、シートと略す）を作成することとした。

方法

- 対象 療養病棟看護師12名
- 研究期間 令和3年5月～令和4年2月
- データ収集方法
 - 退院指導について問題抽出のための事前アンケート調査
 - 退院チェックシートの作成
 - 患者への使用・結果
 - 退院チェックシート使用後のアンケート調査

[方法]
研究の対象を療養病棟看護師12名、研究期間は令和3年5月から令和4年2月、データ収集方法は1. 退院指導について問題抽出のための事前アンケート調査、2. シートの作成、3. シートの患者への使用と結果、4. シート使用後のアンケート調査を行った。

結果

①事前アンケート調査

▶質問:退院指導に関する不安はありますか

▶質問:どのような不安でしたか (全員回答の一部抜粋)

- 指導内容がわからない
- 医療処置に関わる家人への指導(内容)についての不安、またそれをどのようにスタッフに周知してよいかわからない
- 指導の統一性がない
- 今後、医療処置を継続しながら退院する患者が増えることへの不安

[結果]
(1. 事前アンケート調査)
事前アンケート調査で退院指導に不安があると回答した看護師は75%であった。不安の原因として、指導内容がわからない、医療処置に関わる家人への指導、内容についての不安、またそれをどのようにスタッフに周知してよいかわからない、指導の統一性がない、今後、医療処置を継続しながら退院する患者が増える可能性があることへの不安など聞かれた。

②退院指導チェックシートの作成(1枚目)

退院指導チェックシート

1. 基本情報	患者名 () 担当看護師 ()
2. ADL・生活機能 ()	【ADL項目】(●印はバリエーション)
3. 認知機能 ()	A) 食事 (食事内容、食後整理、片付け、トイレ)
4. 歩行能力 ()	B) 歩行 (歩行速度、歩行距離、歩行器具)
5. 転倒予防 ()	C) 転倒 (行動方法、転倒予防)
6. 入浴 ()	D) 入浴 (行動方法、転倒予防)
7. 着脱 ()	E) 着脱 (着脱方法)
8. 排泄 ()	F) 排泄 (排泄方法)
9. 移動 ()	G) 移動 (移動方法)
10. 睡眠 ()	H) 睡眠 (睡眠方法)
11. 社会生活 ()	I) 社会生活 (社会生活)
12. その他 ()	J) その他 ()

(2. 退院指導チェックシートの作成)
これらの意見を踏まえて、シート作成をした。シートは、I 基本情報、II ADL・医療処置チェックシート、III内服に関するチェックシート、の3部構成3枚であるが、今回はI 基本情報について紹介する。シートの左側には患者の介護情報、退院指導が必要

